

第2期酒田市子ども・子育て支援事業計画の策定について

1 計画の概要

平成27年4月に施行された子ども・子育て支援新制度により、市は支援の総合的な実施主体として子ども・子育て支援事業計画を定めることが義務付けられ、第1期酒田市子ども・子育て支援事業計画（平成27年度～平成31年度）「酒田っ子すくすくプラン」を策定した。今後、これに続く第2期酒田市子ども・子育て支援事業計画を策定するもの。

(1) 計画の位置付け

子ども・子育て支援法及び次世代育成支援対策推進法に基づく事業計画

(2) 計画の期間

5年間（2020年度～2024年度）

(3) 他計画との関係

酒田市総合計画を上位計画とし、関係する計画との連携、整合を図る

2 ニーズ調査

(1) 目的

計画の策定にあたり求められる、教育・保育及び地域子ども・子育て支援事業の現在の利用状況を把握するとともに、保護者に対する調査を行い、これらを踏まえて教育・保育及び地域子ども・子育て支援事業の量の見込みを推計し、具体的な目標設定を行うため実施する。

(2) 調査時期

平成31年1月

(3) 調査対象

- ・就学前児童の保護者（1,000人）※無作為抽出
- ・小学生の保護者（1,000人）※無作為抽出
- ・高校生（350人）※酒田西高等学校200人、酒田南高等学校150人

(4) 調査の方法

業務委託（委託先：株式会社東京商工リサーチ酒田支店）

(5) 調査票の内容

国が示している「調査票のイメージ」を基本として、「酒田っ子すくすくプラン」で設定している評価指標に関する設問等を追加した。また、現計画策定時のニーズ調査と同様に、市独自に高校生を対象とした調査も実施。

- ・就学前児童の保護者用 21項目、47問（34ページ）
- ・小学生の保護者用 19項目、43問（30ページ）
- ・高校生用 6項目、6問（2ページ）

(6) 調査票の回収数

・就学前児童の保護者用	393 (回収率39.3%)
・小学生の保護者用	410 (回収率41.0%)
・高校生用	330 (回収率94.3%)

(7) 調査結果について

委託業者において、集計、分析を行い3月中旬までに報告書としてまとめる。

3 計画策定の体制

(1) 庁内

「酒田市子ども・子育て支援推進委員会」において協議

委員長／健康福祉部長

副委員長／福祉課長

委員／関係課等の長（16人）

事務局長／子育て支援課長

(2) 庁外

「酒田市子ども・子育て会議」において意見・審議

会長／白旗希実子委員（東北公益文科大学）

副会長／阿部幸子委員（酒田市法人保育園・認定こども園協議会）

委員／20人（会長・副会長含む）※任期：2019年11月6日まで

4 今後の日程（予定）

平成31年3月まで ニーズ調査実施、調査結果の集計・分析
基本指針^{※1}公布（国）

平成31年4月以降 事業計画の具体的内容の検討（子ども・子育て会議の開催5回
程度）

2019年11月頃 事業計画（案）の決定、パブリックコメントの実施

2020年2月頃 量の見込みと確保方策の調査（国）

2020年3月 事業計画を市議会への報告、国、県に提出

2020年4月 事業計画期間開始

※1…教育・保育及び地域子ども・子育て支援事業の提供体制を整備し、子ども・子育て支援給付並びに地域子ども・子育て支援事業及び仕事・子育て両立支援事業の円滑な実施の確保その他子ども・子育て支援のための施策を総合的に推進するための基本的な指針